瑞穂中学校だより

【学校教育目標：ふるさとを愛し
心身ともにたくましく 主体的に学ぶ生徒の育成】

令和5年5月8日（月） NO. 5 文責：校長 柏原 哲郎
HP アドレス https://www.unzen.ed.jp/mizuhochu

大型連休も終わり、いよいよ体育大会に向けた練習も熱くなります。当日の天気が少し心配されますが生徒の熱気が不安を吹き飛ばしてくれることでしょう。

また、先日お知らせしたように、新型コロナ感染症の対応が変わりました。しかし、1つの病気として存在します。体調管理等についてはこれまで同様に気を付けていきたいものです。

観戦記

4／29（土）～5／7（日）の大型連休期間中は、各運動部活動においては中総体の本番に向けて様々な大会や練習試合（練習会）が計画されました。それらを観戦する機会がありましたので、生徒の頑張りや結果をお伝えします。

男子バスケットボール部は、4／29（土）・30（日）の雲仙市ジュニアスポーツ大会に出場しました。市内各中学校との総当たり戦で、中総体のシード決めの大会でもありました。試合ごとに目標点数を設定し、試合に臨みましたが、残念ながら全敗に終わりました。課題や反省点をしっかりと練習に活かすとともに、この悔しさをバネに中総体に臨んで欲しいと思います。

男女バレーボール部は、4／29（土）にひまわりテレビ杯に出場しました。この大会は島原半島のトップチームを決める大会でもあります。**男子チーム**は、南串中学校との合同チームで参加し、1勝を挙げることができました。一緒に練習する時間が限られている中での1勝は価値あるものだと思います。5／3（水）からは練習試合（練習会）に参加し、さらに1つのチームとしての技量を高めていました。西海市への遠征も行いました。**女子チーム**は、最終的には優勝を飾り、島原半島トップチームとなりました。しかし、それまでの戦いの中では、特に〇〇中学校戦ではとても苦戦しました。こちら側のリズムの悪さ、相手方の調子の良さ等々の要因があるかと思いますが、正直この試合は落としたと思ったほどでした。前回の雲仙市ジュニアスポーツ大会でもこの中学校には苦戦しました。この2試合の反省を活かし、本番ではきっちりと退けてくれるものと期待しています。決勝は安心して観ていられ、貫録勝ちを収めました。但し、「勝って奢らず」です。

男女ソフトテニス部は、それぞれ4／30（日）、5／5（金）に大岡杯という団体戦の大会に出場しました。

男子はA, B2チームが参加し、予選リーグを終え、それぞれ2位トーナメント、3位トーナメントに進みました。それぞれ「キラリとするプレー」も見られましたが、相手がそれ以上であったようです。女子も2チームが参加し、1位トーナメント、3位トーナメントに進みました。Aチームの相手はこれまで勝ったことがない強豪中学校でした。結果は敗れましたが、3ペアのうち、1ペアは勝ち、一矢を報いることができました。3位トーナメントに進んだ2年生のBチームは勝ち上がって、最後は優勝しました。

サッカー部は5／3（水）～5（金）の3日間、島原招待中学生サッカー大会に出場しました。3日間で計7試合に臨むという結構ハードな大会でした。大量得点で勝利を

収める試合もありました。ゴールポストの後ろで、ゴールの瞬間を見ることもでき、とても嬉しく思いました。最終的には7戦全勝の結果を残すことができました。但し、「勝って奢らず」です。

各大会や練習試合（練習会）では、各部活動とも1年生も試合に出場し頑張っている姿がたくさんありました。活躍する場面もあり、これからが楽しみになりました。また、全体を通して、当たり前と言えば当たり前ですが、練習の時に顧問や外部指導者の方々から指導されたことを、まず頭で理解し、それを動きにつなげ、練習を重ね、それが自然にできるようになることが大切だと思います。そして、少なくとも練習の時にできたことは試合でもできなければなりません。また、試合の展開・状況を見極め、どうすれば（動けば）良いか等の判断力も大切だと思います。この判断力も試合や練習を重ねる中で培っていかなければならないと思います。あくまで私見であり、簡単にはできないことばかりを述べましたが、勝利を手にするためには必要なことだと思います。残された1か月間を精一杯頑張り、特に3年生にとっては悔いのない中総体にしてほしいと願っています。

避難訓練

先日の5／2（火）に本年度第1回目の避難訓練を実施しました。今回は「地震・津波の際の避難経路を全生徒・職員が確認し、非常時の際、速やかに避難・誘導ができるようにする」ことを第1の目的において実施しました。中学生として初めての訓練であった1年生もスムーズな動きで避難し、全体では前回の避難タイムと同程度の2分38秒で避難を完了しました。

校長からは、「将来、いつ、どこで地震災害に遭遇するか分からない。しかし、これまで小学校から積み重ねてきた訓練の経験を活かし自分の命を守ってほしい。また、場合によっては救助される側から、救助する側になり他人の命を助ける立場になることも考えてほしい。」という話をしました。

その後、担当の前田教諭から東日本大震災の際のある中学校と小学校の児童・生徒の津波からの避難の実際が語られました。児童・生徒の主体的な行動が間一髪でみんなの命を救ったとても具体的な内容で生徒も真剣に聞き入っていました（写真2段目）。避難訓練は無事に終わりましたが、現実には5／5（金）の昼過ぎに石川県能登半島を震源とする震度6強の揺れが観測され、珠洲市を中心に死傷者が出る地震が発生しました。その後も余震が続くとともに雨による被害も心配されています。改めて地震の怖さを感じました。本当に、いつ、どこで起きるか分かりません。そのための避難訓練という思いを強くし、これからも心して取り組んでいきたいと思います。

体育大会に向けて

5／14（日）の体育大会に向けて、生徒も頑張っていますが、5／7（日）には育友会の役員及び施設保体部の方々を中心にグラウンドの除草作業を急遽、計画していただきました。残念ながら雨天により中止になりましたが、生徒たちのためにというその気持ちに感謝します。生徒たちもそういった保護者の思いを感じながら一生懸命に練習・準備に頑張ってくれるものと期待しています。

さて、今回の体育大会も半日日程で計画しています。途中、熱中症等の予防のために10分程度の休憩を2回入れています。その時は、スポーツドリンクやウィダーinゼリー等のスポーツ用ゼリーの飲食を可能としていますので、準備の上、生徒に持たせていただければと思います。ご協力をよろしくお願いします。

また、今回は4年ぶりの組集団対抗戦の形での体育大会となります。昨年度とはまた違った盛り上がりを期待しているところです。保護者・地域の皆様もご期待ください。